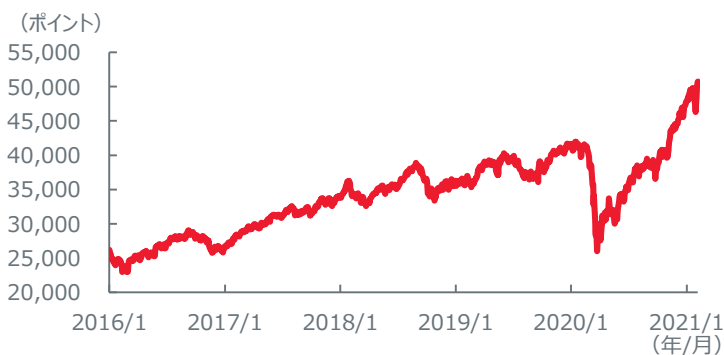


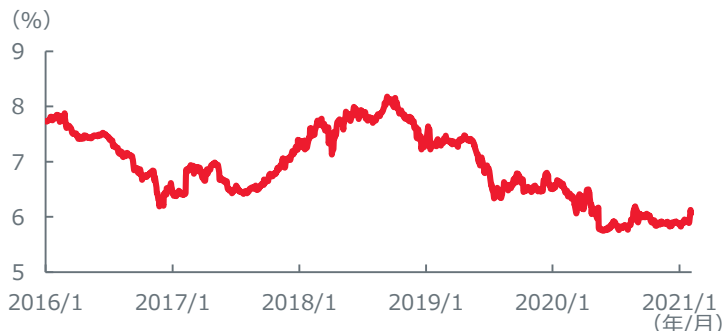
(対象期間：2021/2/1～2021/2/5)

【株式市場】 SENSEX指数の推移  
(2016年1月1日～2021年2月5日)

## 【株式市場】

株式市場は1日に発表された2021/22年度国家予算案を受けて大幅に上昇して史上最高値を更新し、終値でSENSEX指数は50,000ポイントを超える展開となりました。新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ景気回復を支援するため、政府が財政出動の拡大に動いたことが好感されました。また、民間大手のHDFC銀行などの銀行株が決算を控えて大きく上昇したことなどもあり、インドの株式市場は週間で大きく上昇しました。

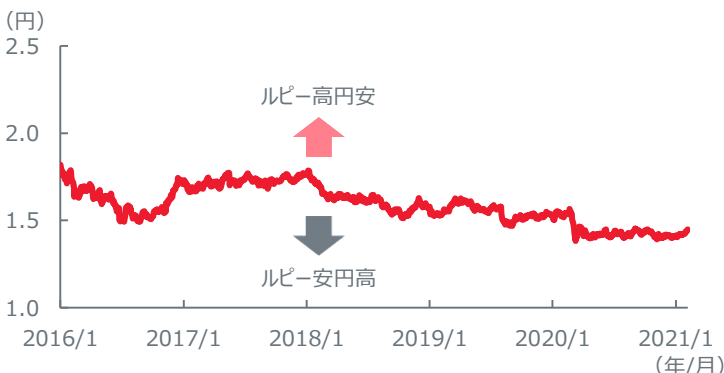
2021/1/29	2021/2/5	変化率
46,285.77	50,731.63	+9.61%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2021年2月5日)

## 【債券市場】

インド準備銀行（中央銀行、RBI）は5日、政策金利を全会一致で4%に据え置くことを発表しました。政策金利の据え置きは予想されていたものの、2021/22年度国家予算案が大幅な財政拡大基調であったため、債券市場に対する何らかのサポートが期待されていたが発表はありませんでした。インド10年国債利回りは予算案の発表後に上昇（価格は下落）したのち、政策金利発表後は小動きとなりました。週間では利回りは上昇しました。

2021/1/29	2021/2/5	変化幅
5.906	6.071	+0.165

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2021年2月5日)

## 【為替市場】

週初は2021/22年度国家予算案と同時に発表された今年度の財政赤字見通し対GDP比で9.7%とこれまでの7%から大幅に悪化することからルピーは売られました。週後半は株式市場の上昇や、政策金利据え置きが発表され、同時に楽観的な経済見通しが示されたことから上昇しました。週間ではルピーは対米ドルでは横ばいとなったものの、対円では、円安米ドル高の影響によりルピー高円安となりました。

2021/1/29	2021/2/5	変化率
1.436	1.448	+0.86%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国フルデンシャル・グループ

英国フルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているフルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるフルデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。